



## 青和病院 理念

私たちは信頼され、選ばれる病院を目指して、3つの【和】を大切にしています。

- 地域社会との和
- 患者様、ご家族様との和
- 職員同士の和

### ～行動指針～

- 私たちは地域の方々が安心して利用でき、誠実で思いやりあふれる病院を作ります。
- 私たちは命の尊厳と人間愛をもち、絶えず医療の質の向上に努め、信頼される病院を作ります。
- 私たちは医療人としての誇りと自覚をもち、互いに協働し、働きやすい職場を作ります。



## ～苗から稲へと成長中～



豊かな穂先をつけるべく、太陽を浴びて元気に成長しています。

## 今月のご挨拶

青和病院に勤めて、はや 19 年。その多くを認知症病棟で過ごしてきました。これまでの患者様との関わりを振り返り、改めて思うことは、入院患者様は「なぜ自分が入院しているのか」「なぜ帰ることができないのか」「周りは知らない人ばかりだ」…といった、様々な不安を抱えているということです。認知症が進行すると、これまでできていたことが、難しくなることも徐々に増えていきます。そんな不安を少しでも緩和するために、私たちにできることは何か。

それは「笑顔で接すること」、「目線を合わせて話しかけること」、「優しく触れること」です。一見、簡単なことのように思いますが、日々の生活に追われ、心が疲れていると、なかなか実践できません。ゆとりがないと感じた時には深呼吸をして、心の余裕を復活させ、思いやりのある対応ができるよう、これからも頑張っていきたいです。



3階 老年期病棟長  
松浦 郁美

## 3 原則で食中毒を予防しよう！

各地で梅雨入りが発表される 6 月。湿度が高く、蒸し暑さが続くこの時期は、熱中症とともに、食中毒の心配も増える季節です。腸管出血性大腸菌(牛肉)、カンピロバクター(鶏肉)、サルモネラ(卵)、黄色ブドウ球菌(おにぎり、お弁当)など、細菌やウイルスの増殖が活発となるため、体内に侵入しないよう注意が必要です。また、感染した場合には、吐き気やおう吐、腹痛、下痢などで、脱水症状を起こすこともあるため、経口補水液などで水分補給を行い、必要に応じて医療機関を受診しましょう。

### <食中毒予防の 3 原則>

- ①つけない : こまめに手を洗う。肉や魚を調理した器具は、使用後すぐに洗浄・消毒を行う。
- ②増やさない : 購入した食材は冷蔵庫に入れ、低温で保存。調理後は早めに食べる。
- ③やっつける : 十分な加熱処理を行う。中心温度が 75℃で、1 分以上の加熱が目安。

青和病院が大切にしている3つの【和】にちなんだ出来事をお知らせします！

### 地域社会との和♪

## 季節の植物がお出迎え

当院の玄関を入ると、ホール中央で存在感を放つ植物が、来院される方々をお出迎えします。隣町、松寺の四緑園<sup>しりよくえん</sup>さんが、定期的に植物を入れ替え、手入れを行いながら、四季折々を演出中です。



現在は、大きな葉をしたケンチャヤシ、うちわのような形をしたモンステラ、そして赤い葉で彩りを添えるアナナスなど、南国亜熱帯をイメージしたディスプレイとなっています。窓から差し込む光を受け、そばを横切るたびに揺れる葉に、癒しと安らぎを感じていただけたらと思います。

### 患者様・ご家族様との和♪

## 五・七・五に思いを乗せて

～2階 リハビリテーション病棟より～

2階病棟では、今年も「春の俳句大会」が開催され、皆で頭を悩ませながら、渾身の一句を考えました。窓から見える景色にヒントを得たものや、家族を思いながら作った句など、多くの作品ができあがりました。一句ずつ紹介されるたびに、「わぁ！上手！」などの歓声があがり、五・七・五から浮かび上がる情景を想像しながら、楽しいひと時を過ごしました。

- ・はるがきた 孫がお嫁に いきました
- ・さくら咲く 車でいっぱい 兼六園
- ・そらながめ 春を感じる 桜日和



### 職員同士の和♪

## 広がる、深まる「和みの宴」

5月に行われた当法人の親睦会「和みの宴」。毎年、新入職員が工夫を凝らした出し物を企画しています。今年はキレキレのパブリーダンス！会場は笑顔と手拍子で大盛り上がりとなり、先輩・後輩、各部署の垣根を越えた交流の場となりました。

各部署から選出された幹事が集まり、企画や構成について話し合いました。普段は顔を合わせる事が少ない部署や、職員もいるため、横の繋がりが広がる、よい機会となりました。この繋がりを、業務でも活かしていきたいです。

(ホームいこい 北野 由紀)



### スタッフひとことコーナー

青和病院で働く職員がつぶやくひとことコーナーです。今回は2階病棟から♪

#### ～いつの時代も～

毎日、様々なニュースが飛び込んできますが、最近特に私が関心を引かれたのは、近隣諸国の会談に関するニュースです。それぞれの国が調和を保てるよう、各国の首脳が直接会って話し合いを重ねています。私たちの業務でも、職員が患者様の今後や、ケアについての意見を交換し合っています。どんな場面でも、お互いの関係性を深めるには、やはりコミュニケーションが重要だと思う、今日この頃です。(Y)



精神科・神経科・心療内科

医療法人社団 青樹会 青和病院

〒920-0205

石川県金沢市大浦町ホ 22-1

TEL : 076-238-3636

FAX : 076-238-9562

Email : info@seiwahp.or.jp

URL : http://www.seiwahp.or.jp



～和便り編集・発行～

青樹会広報委員



#### \*編集後記\*

県外に進学した次男から、「顔がかゆい」との連絡が。聞けば食パンばかり食べている、とのこと。偏った食生活は、思わぬ症状を引き起こすようです。次男に送る食材を準備しながら、健康管理の大切さを思います。(I)